

オーストラリア研究紀要

第 38 号

2012. 12

追手門学院大学
オーストラリア研究所

目 次

米原淳七郎先生，山中雅夫先生を偲んで……………南 出 眞 助… i

共同研究報告（2012年）

オーストラリアの政治経済情勢について

——2011・12年度共同研究「オーストラリアにおける人的・物的資源の
移出入構造に関する実証的研究」からの展望—— ……………有 吉 宏 之… 1

鯨と真珠

——日・豪民間人の接触と相互交流のライフ・ヒストリー——……………重 松 伸 司… 5

西オーストラリア州フリーマントル港の特質……………南 出 眞 助… 25

オーストラリアの教育水準と GDP の関係について ……………橋 本 圭 司… 31

共同研究報告（2010年）

オーストラリアにおける障害児をもつ家族の就業状況の研究動向……………村 田 美 希… 39

論説

オーストラリアの犯罪者の社会内処遇とソーシャルワークの関係……………古 川 隆 司… 45

The Making of AN ENDURING FRIENDSHIP ……………David Black… 55

The Australian carbon farming initiative :
early developments ongoing challenges ……………Michele Rosano and Dermot Duncan… 69

研究ノート

オーストラリアへの婚姻移住

——国際結婚による永住ビザ申請者数の把握と日本人女性婚姻移住者への
個別インタビュー事例から—— ……………濱 野 健… 83

オーストラリアにおける障害者雇用支援コミュニティビジネスについて

——グッドサミーをケーススタディとして—— ……………高 塚 雄 一… 105

2012年度パース国際芸術祭に見る

オーストラリア文学の現状と課題……………湊 圭 史… 119

2012年オーストラリア研究所および所員の活動（1月～12月）	129
投稿案内および投稿規程	131

投稿案内

「オーストラリア研究紀要」編集委員会は、広く国内外の研究者による投稿を受け付けています。投稿を希望される方は事前にお問い合わせのうえ、投稿規程にしたがってご投稿ください。

- ①募集原稿：未発表論文の「論説」、「研究ノート」および「資料紹介」。他誌との重複投稿はご遠慮ください。
- ②刊行時期：年1回、12月25日（奥付）。
- ③締め切り：毎年9月10日必着。最短期間で採択が決定すれば当該年度の号に掲載可能。修正が必要な場合や、その他編集の都合により次号掲載となる場合もあります。
- ④原稿送付・問い合わせ先：〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15
追手門学院大学オーストラリア研究所「オーストラリア研究紀要」編集委員会
TEL：072-641-9667 fax：072-643-9476 e-mail：cas@office.otemon.ac.jp
(ワープロ原稿の場合は、プリントとUSBメモリーまたはCDRを郵送してください。)

投稿規程

1. 募集原稿は、オーストラリアとその周辺地域に関する未発表の学術論文としての「論説」、「研究ノート」および「資料紹介」とする。
2. いずれの原稿も、編集委員および外部委託を含む複数名の審査を経る。その結果、本誌の趣旨にそぐわないと判断された場合には原稿を返却する。また採択の場合も、修正を条件とすることがある。
3. 「論説」は、本文・図表等を含め、和文：24,000字以内、英文：ダブルスペースA4判40枚以内とする。
4. 「研究ノート」、「資料紹介」は、本文・図表等を含め、和文：12,000字以内、英文：ダブルスペースA4判20枚以内とする。
5. 和文原稿には、和英両文の氏名・所属・タイトルおよび英文アブストラクト（300語程度）を付す。大学院生・研究生等の場合はその旨を明記する。アブストラクトは原則としてネイティブチェックを受けること（採択決定後でも可）。編集委員会では訂正しない。
6. ワープロ原稿の場合、ポイント・1行当たり字数・行数などはとくに規定しない。
7. 注は脚注、参考文献は巻末とする。
8. 図（グラフ・写真等を含む）および表はそれぞれに通し番号とタイトルを付し、本文中にその挿入箇所を明記すること。
9. 他の資料から図・写真等を転載する場合は、投稿者が許諾手続きをとる（採択決定後）。
10. 著者校正は再校までとする。校正段階での大幅な加筆・修正は認めない。
11. 著作権はすべて追手門学院大学オーストラリア研究所に帰属する。
12. 刊行後は、本研究所のホームページにバックナンバー（PDFファイル）として公開する。ただし、著者に無断で他の出版物等に転載することはない。

2012年12月20日 印刷

2012年12月25日 発行

〒567-8502 茨木市西安威2丁目1-15
発行所 追手門学院大学オーストラリア研究所
(所長 有吉宏之)
TEL (072) 641-9667
FAX (072) 643-9476
E-mail: cas@office.otemon.ac.jp

編集者 オーストラリア研究紀要編集委員会
(橋本圭司 L. S. de Silva 筒井由起乃 森島 覚)

〒615-0052 京都市右京区西院清水町13
印刷所 協和印刷株式会社
TEL (075) 312-4010

THE OTEMON JOURNAL OF AUSTRALIAN STUDIES

Vol. 38

DECEMBER 2012

CONTENTS

Memories of Professor Junshichiro Yonehara and Professor Masao Yamanaka	Shinsuke Minamide	i
Reports on the Joint Reseach Program 2012		
Political and Economic Situations in Australia	Hiroyuki Ariyoshi	1
Whale and Pearl : Life Histories of Civilian Contact and Interchange in Japan and Australia	Shinji Shigematsu	5
Feature of the Port of Fremantle in Western Australia	Shinsuke Minamide	25
On the Relationship between Education Attainments and GDP in Australia	Keiji Hashimoto	31
Report on the Joint Reseach Program 2010		
Research Trends on Influence on Parents' Employment When Children Have Disabilities in Australia	Miki Murata	39
Articles		
A study on the relationship between diversion and social work among older offenders in Australia	Takashi Furukawa	45
The Making of AN ENDURING FRIENDSHIP	David Black	55
The Australian carbon farming initiative : early developments ongoing challenges	Michele Rosano and Dermot Duncan	69
Notes		
Marriage migration to Australia : interviews with Japanese women permanent visa applicants through cross-national marriage	Takeshi Hamano	83
Social Business for Disability Employment Support in Australia : Case Study of Good Sammy	Yuichi Takatsuka	105
Issues in Contemporary Australian Literature : Notes on the Perth International Arts Festival 2012	Keiji Minato	119

The Center for Australian Studies
Otemon Gakuin University

Ibaraki-shi, Osaka 567-8502
Japan